



病院の概要

- 医師数（研修医を除く）44 名（うち指導医数 17 名）
- 研修医数 1 年目 6 名 2 年目 4 名
- 研修医の主な出身大学 日本大学・産業医科大学・浜松医科大学・山梨大学・千葉大学・筑波大学・金沢大学・埼玉医科大学・山口大学・獨協医科大学
- 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 腎臓内科 神経内科 呼吸器外科 外科 整形外科 脳神経外科 小児科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 耳鼻咽喉科 形成外科 眼科 放射線科 麻酔科 リハビリテーション科
- 1 日平均外来患者数 666 名 ● 1 日平均入院患者数 262 名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本循環器学会研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院、一次脳卒中センター（PSC）認定施設
※千葉大学医学部付属病院、埼玉医科大学病院の協力型臨床研修病院



研修プログラムの特色

あらゆる疾患の患者さんと接触する職業であるとの認識を踏まえ、幅広い社会性と温かい人間性を養えるよう研修を企画すると共に、各診療科では、医師として基本的な診療能力を習得できるプログラムを目指しています。同時に、将来の希望を見据えた選択科目の研修期間も十分取れるようにしています。また、医師としての基盤形成の時期である初期研修時期において、患者さんを全人的に診ることができる基本的な診療能力を習得することにより医師としての資質の向上を図り、医師にふさわしい人格を涵養することを目的としています。



プログラム 例 熊谷総合病院卒後臨床研修プログラム（募集定員 6 人）

	1 ～ 4 週	5 ～ 8 週	9 ～ 12 週	13 ～ 16 週	17 ～ 20 週	21 ～ 24 週	25 ～ 28 週	29 ～ 32 週	33 ～ 36 週	37 ～ 40 週	41 ～ 44 週	45 ～ 48 週	49 ～ 52 週	
1 年目▶	内 科							救急部門			外科	小児科	産婦人科	精神科
2 年目▶	必修科目	地域医療	選択科目											

※協力病院・施設での研修もあります

選 択 科 目：内科、外科、産婦人科、小児科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、眼科、放射線科、皮膚科、耳鼻咽喉科、救急部門、精神科、保険・医療行政、地域医療



研修医の処遇

- 給 与▶ 1 年次：42.5 万円 / 月 2 年次：45 万円 / 月
- 諸 手 当▶ 通勤手当、家族手当、超過勤務手当、日当直手当
- 保 険▶ 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- 勤務時間▶ 8 時 30 分～17 時 30 分
- 当 直▶ あり（2 回程度 / 月）
- 休 暇▶ 2 日 / 週、有給休暇（1 年次：10 日 2 年次：11 日）
- 宿 舎▶ あり（医師住宅：家賃半額補助上限 6 万円まで）
- そ の 他▶ 賞与（1 年次：80 万円前後 2 年次：90 万円前後）
※業績により支給

主な臨床研修協力病院 協力施設



- ・北深谷病院
- ・深谷赤十字病院
- ・新久喜総合病院
- ・埼玉医科大学病院
- ・上尾中央総合病院
- ・行田総合病院
- ・羽生総合病院
- ・西熊谷病院
- ・松本医院
- ・石川クリニック
- ・太陽の園 他



当院の魅力

研修しやすい環境づくりを目指しています！

当院の魅力はなんといっても研修医が①積極的に治療に関わり②手技の研修が豊富で③伸び伸び研修できる環境にあることです。

①では救急は全科当直のスタイルをとっており、適切な指導医のフォローアップの下、全て研修医がファーストタッチを行います。各科カンファレンスでは自由に発言でき、研修医も積極的に治療方針に関して意見を述べる事が出来ます。

②では内科系では1年目4月の朝の採血実習から始まりルート確保、血液ガス分析、血液培養、心・腹部エコー、cv挿入など、外科系では腰椎穿刺、cvポート設置、小手術、開腹手術や腹腔鏡手術まで執刀する機会があります。当院では研修医全員が必要な手技をもちろん適切に学べるよう、システム化された教育体制を整え、主に4月～5月の間に多くの講義や実習を行うスケジュールを組んでいます。

③ではそれぞれの体力や知識量にあったスケジュールを設定し、疲弊するほど多忙でなく、明日も頑張ろうと思える忙しさです。週末はしっかりと休みがあり、メリハリをもって勤務にあたる事が出来ます。また一人一人の個性や適性に合わせた研修を上級医の先生方や病院スタッフが考えて下さり、学会発表なども地方会から海外まで、筆頭演者で発表する機会もあります。もしこの文章を読んで「ここで研修しよう！」と思った方は是非、見学に来て下さい。大歓迎します。



研修責任者から message

当院は埼玉県北の中核基幹病院ということで、プライマリー・ケアを中心に多くの症例を経験できる研修施設です。希望とやる気があれば、より専門的な診療への参加も可能です。大学病院などとは異なり、科ごとの垣根が低く、複合的な疾患の診療がしやすくなっております。また、メディカルスタッフとの人間関係も良好で、研修医の先生が働きやすい環境が備わっていると思います。ご連絡をお待ちしております。



プログラム責任者
齋藤 雅彦



先輩研修医から message

当院は病床数300床以上を有する地域の中核病院です。当院では大学病院などの高度専門病院では経験できない症例に触れることができます。また、熊谷市や埼玉県医師会主催の講習会等に参加する機会もあります。研修医1年目は6名(2019年度)であり、症例の取り合いは起こらず、困ったときは相談できる間柄です。積極的に外科的経験を積みたい、腰を据えて内科的知識を深めたいなど、個性のある研修が行われています。不安なことも多い研修医生活ですが、全科共通の医局では他科の医師とも相談しやすく、救急外来では経験豊富なスタッフがしっかりとサポートします。2020年に建て替わる新しい病院で新生活を始めてみませんか。見学申し込み大歓迎です。



研修医1年目
関 佑介



女性医師支援コーナー

保育所は近隣にあり、平屋のゆったりした造りで遊戯室が2部屋あります。保育士は常勤職員ですから、継続した保育を行うことができ、預けている職員にとっても安心できる運営になります。男性職員も利用することができ、ご夫婦で働いている方で預けている方もいます。定員は20人ほどで、生後8週から3歳までお預かりしています。今、子育て世代の女性医師がいないので、医師の利用としては非常勤医師で週に1日、勤務のときに預けている方がいます。24時間保育は、月に12回行っており、臨時でも引き受けます。忙しくて遅くなるときや研修など、勉強会の時もお預かりします。病児保育は行っていないですが、少しぐらいの熱であれば職員にもすぐ連絡できますし、小児科にも連絡できますので、お預かりできます。職員には安心して働いてもらえる環境を整えています。



連絡先 社会医療法人 **熊谷総合病院**

総務課 藤澤 愛

〒350-8567 熊谷市中西4-5-1

TEL ▶ 048-521-0065 (代表) FAX ▶ 048-523-5928

E-mail ▶ kumasou@kumasou.or.jp

URL ▶ <http://www.kumasou.or.jp/>

アクセス ▶ JR 高崎線・上越新幹線・秩父線 熊谷駅北口から徒歩 15 分



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時受け付けておりますので、メール・電話にてご連絡ください。
- 2020年春・夏のレジナビフェアにも参加予定ですので、是非お立ち寄りください！